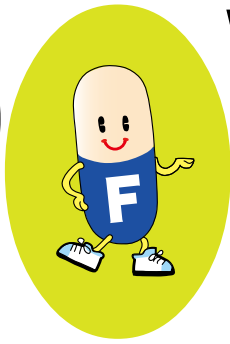


POWER!



2018年
11月
vol. **60**

平成30年(2018年)
11月20日発行

発行所 ● 日本薬剤師連盟
〒160-0004
東京都新宿区四谷4-3
四谷トーセイビル2階
TEL (03) 3225-3100
FAX (03) 3225-3200

発行月 ● 隔月(奇数月)発行

<http://www.yakuren.jp>



熊本県薬剤師連盟女性フォーラム(9月9日)



若手薬剤師と女性薬剤師の合同フォーラム(9月15日)



日本女性薬剤師会交流会 in 石川(9月22日)



崇城大学薬学部 特別授業(9月25日)

北海道及び東北ブロックにおいて支部訪問活動を展開!

本田あきこ副会長の全国支部訪問の旅は、8月の地元熊本での活動を終えて、9月から北海道に入った。9月3日の網走より北見、釧路、十勝と訪問活動を続けながら移動し、9月6日未明、宿泊していた帯広市のホテルで北海道胆振東部地震に遭遇した。このため、以後2週目までの北海道での活動が中止となったが、3週目の活動は予定通り実施できた。

その後、東北ブロックにおいて訪問活動を展開し、青森(9月26日~28日)、岩手(10月4日)、山形(10月9日~12日)、福島(10月15日~18日)、秋田(10月23日~26日)、宮城(10月29日~11月1日)を訪問し、薬局、卸、製薬会社、病院薬剤部等の訪問や研修会での講演を行った。

11月以降、北陸信越ブロック、九州ブロック、四国ブロックを訪問し、全国訪問活動の第2ラウンドを終了することになる。

本田あきこ副会長、全国訪問の旅

第十弾

北海道及び東北ブロックにおいて支部訪問活動を展開!



横浜薬科大学 学園祭(10月28日)

女性の集いへ参加!

○9月9日(日)、熊本県の女性薬剤師を対象とした「熊本県薬剤師連盟女性フォーラム」に参加した。「働き方」をテーマとしたフォーラムであった。

○9月15日(土)、埼玉県薬剤師連盟主催の「若手薬剤師と女性薬剤師の合同フォーラム」に参加し、講演を行った。

○9月22日(土)、日薬学術大会の前日に金沢で開催された「日本女性薬剤師会交流会 in 石川」にお邪魔し、多数の参加者と交流ができた。

薬学生と交流!

○9月25日(火)、崇城大学薬学部で開催された防災についての特別授業に招かれ、災害支援と薬剤師について講演した。また、モバイルファーマシーの見学も行われた。

○10月28日(日)、横浜薬科大学の学園祭に招かれ、「あい、きぼう、これからの医療と薬剤師」と題して講演を行った。

比例代表は政党名ではなく候補者名を書こう!

参議院選挙のしくみと投票方法

参議院議員選挙は各都道府県の区域を選挙区の単位とした「選挙区選挙」と全国を単位とした「比例代表選挙」があります。

有権者は「選挙区」と「比例代表」それぞれに投票する必要がありますが、一人が二票「投票することになります。」

比例代表選挙では、当選させたい候補者の獲得票が多ければ多いほど、政党内候補の順位が上がります。当選することができず、比例区はぜひ「名前」を書いて投票しましょう!

参議院選挙の投票方法

比例代表選挙の投票
白色の用紙
「苗字」「名前」を書いて投票しましょう。
※政党名でも可

選挙区選挙の投票
うす黄色の用紙
「選挙区」はあなたの選挙区の「候補者名」を書いて投票します。

「名前」を書きましょう!
一人「2票」
比例代表
選挙区

風力計

薬剤師の職業体質

昨年、C型肝炎治療薬「ハーボニー」配合錠の偽造品が卸売販売業者を通じて流通し、薬局において調剤され、患者に渡ってしまったという事実が発生しました。我が国では、正規ルートの中で偽造品の流通はないという認識の中で起きた事案で、「安全神話の崩壊」と強い衝撃を持って受け止められました。

今回発見された偽造品は、外箱から出さず、添付文書もないという通常とは異なる状態で、当該偽造品の調剤を行った薬局では、こうしたことに違和感を持ち、納品時、調剤時に確認を行わなければならなかったと思います。

ヨーロッパで薬剤師という職業が生まれて約700年、各地に根をはるようになって約500年、その歴史の中で他の業の取扱者と比べて、薬剤師はきわだった特別な「職業体質」を持ち、「正確な秤量」「品質の確保」「内容表示」などに取り組んできたことで、国民から信頼を得て育った職業になりました。

近年、医薬分業に対して厳しい指摘が続いています。対物中心の業務から対人中心の業務へシフトを求められていますが、品質が保証された医薬品の供給は、薬剤師にとって基本的な使命であり、最も重要な業務のひとつになります。

薬剤師の原点に戻り、医薬品を扱うという「覚悟」と「倫理観」を持ち、「職業体質」を大切に、地域への品質の確保された医薬品の供給に取り組んでいかなければなりません。

日本薬剤師会
副会長 森 昌平

AJPPフォーラム開催される!

平成30年9月16、17日の2日間に渡り、「AJPP (All Japan Pharmacists) フォーラム」がクロスウェーブ船橋で開催された。今回のフォーラムは、本田あきこ組織内



候補への支援をより確実に実行していくため、組織強化委員会が作成したチェックリストを活用し、都道府県において中核となつて活動している組織強化担当役員と2月に

開催したJPL (Japan Pharmacists Ladies) フォーラムの参加者で開催された。メインテーマは「目指そう! 10・70・30」、サブテーマは「未来は自分で創る」であった。フォーラムは、山本会長の「薬剤師会は非常に重要な時期にきており、活発な協議を期待したい」との挨拶で始まり、次に、麻生太郎副総理・財務大臣の時局講演となった。

麻生太郎副総理・財務大臣の時局講演!

何故、医師と薬剤師が別れたか知っています? 明治になってから150年になるがあの時代、西洋医学と漢方医学を分けることから始まった。当時薬剤師はいなかった。西洋では王様等が毒殺されることが多かったから銀の食器を使い医師が出す薬を薬剤師にチェックさせた。そもそも立場が違うことを認識しておく必要がある。

医薬分業が70%を超えただけ、進まなかった原因は兼務していた方が儲かるからだ。医師の方が地位が高い。そして力がある。この中で診療報酬・調剤報酬を1.03で分配している。これ全て政治です。政治が絡んで政治で決まっている。だから薬剤師を政界に置いておく必要がある。民主主義は利益代表が出てきて、その利益代表の数が多ければ強いというのがルール。問題がありますよ。でもこれにわかる方法が無いからこれでやっていくしかない。だから皆さんの代表を送っていかなければならぬ。選挙は回り回って自分の話です。時局の話になりますが、今、自民党総裁選挙中であり、多くの国が議院内閣



制を取っています。衆参で過半数が自由民主党議員ですから、自由民主の総裁が内閣総理大臣になります。総裁選挙が議員を含めて行われる様になったのは、78年の福田赳夫さんと天平正芳さんの時でした。6年前の野党時代に安倍総裁が誕生し、政権の奪還を目指した。奪還するのは手段ですから、その後何をやるかが問題。当時、経済は悲惨な状況にあった。自分で時いた種は自分で刈るしか無い。そこで、政権を奪還後に、東日本大震災からの復興、デフレ・シヨンのからの脱却、憲法改正への取り組みについて順位を付けて取り組みました。(中略)

金融緩和だけで景気が良くなるわけではありませぬ複雑です。従って、政府も財政を出動させる必要がある。「公共事業は悪だ」として予算を減らしてしまいましたが、津波被害や水害も公共事業を減らしたために被害が大きくなったという側面もあり、やるべきことをやらなければ安心安全が保たれません。また、それによって雇用が生まれ、物流等も効率が悪くなります。景気が戻ってきた背景はここにあります。それによって政府の借金が多くなっているのではないかと云われます。しかし、景気が良くなり法人税や所得税・消費税が増え、6年前に比べ新規国債発行額は10兆円以上減っています。新聞には増えているように書いてありますが、実際はそうではありません。(中略)

今は、経済の話だけをしましたが政治というものを考えて戴ければと思っています。山本会長から本田あきこさんの話が出ておりましたが、薬剤師として政治の世界に出てくる。40歳代で出てくることは良いことです。経験が踏まえた上で出てくる。そして仲間には、松本純先生はじめ藤井もとゆき先生たちがおられますから、ともに政治をやって行かれることは大事なことと思っています。皆様には、これからのことを考えてもらいたい。少子高齢化が進む。保険だ年金だと言うけれども、昭和35年岸信介内閣の時国民皆保険制度が出来た(注:施行は昭和36年、池田内閣)。その頃は勤労者16歳から60歳まで、6人で1人の高齢者を支えていた。戦後間もない頃の合計特殊出生率は3〜4だからね。今、1.43、簡単に言えば2人で1人の高齢者を支えるようになった。

だから単純に言えば保険も年金も3倍払ってもらわないと割が合わない。これは、真剣に考えてもらわなければならないことです。国家予算約98兆円のうち、医療などの社会保障で33兆ですから、3分の1を占める。その中で最も大きなシェアを占めてます。その薬を今後どうするんです。薬剤師、製薬産業等色々関係してきます。そして、世界の中で米国マサチューセッツだけに医薬品企業が集中している。日本でも新しい薬を作る企業はあります。しかし、世界中で新薬を作っている国は何カ国あるんでしょうか。日本、米国、スイス、ドイツ、フランスなど、そんなものです。日本がこれを維持しなければ米国に良いようにされてしまふ。薬を育てるためのシステムと言うものを作っておかなければいけない。それは、自分たちを守るために、良いようにされないために。薬剤師も製薬企業も、そして政府も一丸となって考えていかなければならない。それが政治の役割だと私も思っています。次の参議院の選挙に勝って、3年間で介護・保険・医療を見直してきちんとしたものにして上げていかないとけない。このままでいけるとは思わないこと。人口は減る。どう対応するか。高齢者が早く死んで欲しいなんて考えている人なんかいない。元気で長生きをと言うことであれば予防医学を進める。そうすれば医療費を下げるようになります。今のままの税金で、今のままの保険で医療・介護・福祉が受けられるようにしていくためにも皆で工夫しなければならぬ。こうしたときどうしても政治の力が必要です。私からも「本田あきこ」にお力添えを戴くことをお願いして話を終わりにします。

本田あきこ副会長より決意表明!

麻生大臣の講演後、松本純衆議院議員、藤井基之参議院議員より挨拶をいただき、続いて「本気だ! 本田!!」コールで登壇した本田副会長が次のように決意表明を行った。「元気が出るコールでお迎えを戴きありがとうございます。自然災害が多く起こっている中で復旧の途中にある先生も多くいらっしゃると思います。そうした中で、全国からお集まり戴いたことにお礼を申し上げますとともにお見舞いを申し上げます。私の政治信条の一つですが、その都度に災害



支援チームを編成するのでは無く、法律として制度化を図り、支援チームの連携を平時から行い、体制を構築しておくことが大切だと考えています。

また、2月に開催されたJPLフォーラムで一つの言葉が生まれました。それが「Something Orange」です。私のイメージカラーを身につけて、後援会活動の輪が全国に広まっています。薬剤師が素晴らしい仕事である事を政治の場で語り、制度を作る仲間に入れて戴くこと、それが新人本田あきこの使命だと思っています。よろしくお願ひ致します。」

10・70・30に向けてのSGDと意気込みの発表!

引き続き丹下常任総務からフォーラム開催に当たって「組織強化」について、10・70・30とステップ表との連動」と題しての趣旨説明が行われ、続いて地域別に7班に分かれてSGDに入った。

その後、懇親会となり、荻野副会長の挨拶、杉浦千葉県薬剤師会会長の乾杯により、活発な意見交換を兼ねた会が始まりました。

二日目は、岩本幹事長の開会挨拶に始まり、その後SGDの発表が行われた。発表後には、石井副会長による総括、尾島副会長の閉会挨拶、二日間のフォーラムの状況をスライドにしたエンドロール上映が行われ、最後に、橋本企画実行委員会委員と渡邊総務による頑張るぞコールで閉会となった。



平成30年度臨時評議員会開催される



平成30年10月3日、午後1時から東京四谷にて平成30年度臨時評議員会が開催された。まず山本会長の挨拶で始まり、続いて薬剤師国会議員である松本純衆議院議員、藤井もとゆき参議院議員、とかしきなおみ衆議院議員より国政報告を兼ねた挨拶があった。今回は平成30年度になって初めての評議員会のため新たに議長・副議長を選出することとなり、そのための仮議長として神田評議員(熊本県)が指名され議事が進められた。

議案第1号 議長・副議長選出の件では、その候補者として議長は金安評議員(北海道)、副議長は明石評議員(静岡県)が立候補届を提出しており、候補者が1人であるため投票を省略し、議決を求めたところ全会一致で承認された。早速、新議長・副議長に進行が委ねられ、まずは重要事項の経過報告がなされた後、報告第1号 平



成29年度会務並びに事業報告、議案第2号 平成29年度収入支出決算報告及び監査報告が行われた。そして休憩の後、質疑応答・採決が行われ、すべての報告・議案が賛成多数で承認された。採決の後、紀律委員会の報告が行われた。

続いて協議に移り、本田あきこのキャッチフレーズとして「あい、きぼう、これからの医療と薬剤師」、「目指そう! 10・70・30」に加え、本田副会長の名前を浸透させるためのかけ声として「本気だ! 本田!!」ができたこと、ブロック協議会開催、支援者名簿活動の更なる拡充等の報告・協力依頼がなされた。また、7月26日に本田あきこ副会長と安倍総理の対談が行われ、広島・岡山・愛媛での豪雨災害に対する薬剤師会としての活動や、これからの医療における薬剤師の役割等が話し合われたことを日薬誌9月号に掲載された。



最後の説明があった。最後に本田あきこ副会長から閉会の挨拶があり「全国キャラバンでは都道府県薬剤師連盟の協力を感謝、支援団体に対しても本田は我々の仲間と思ってもらえるよう、これからも頑張る」と力強く締めくくった。

休憩をはさんで引き続き「本田あきこ激励会」が行われ、支援団体を代表して製薬産業政治連盟の宮島幹事、健康保険政治連盟の佐野副会長より激励の言葉が送られた。また、日本薬政連の鹿目会長よりメッセージが届けられ披露された。また、本田あきこ中央後援会副会長である日本病院薬剤師連盟本平会長、同じく日本女性薬剤師連盟近藤会長も駆けつけて、引続きの支援を約束し、一丸となって応援することを誓い合って散会となった。



日薬学術大会の連盟ブースにて活動を展開!!

平成30年9月23日(日)、24日(月・祝)、石川県金沢市において、第51回日本薬剤師会学術大会が開催され、日本薬剤師連盟は専用ブースを設置して連盟の事業に関する啓発活動を展開した。

役員、職員、企画実行委員、地元女性薬剤師が大活躍!

連盟のブースは、県立音楽堂の二階のスペースに設置された。開会式、



特別講演の会場入口の前という絶好の立地であったため、非常に多くの参加者が行き交い、ファーマちゃんイラストを印刷したクリアファイルに、本田あきこ名刺型資料、本田あきこ三つ折りパンフレット、メルマガ等のQRコードチラシ、ファーマちゃんシールを入れたセットを、一日半で約1,500部受け取ってもらうことができた。また、ファーマちゃんのイラストと日本薬剤師連盟の文字を表紙に印刷し、続紙のすべてに「あい、きぼう、これからの医療と薬剤師」と印刷したメモ帳も大変評判がよかった。

本田あきこ副会長と着ぐるみファーマちゃんが大人気!

一方、ブースには本田あきこ副会長が白衣姿で参加者を迎え、多くの

方々と握手を交わすことができた。また、スペースに恵まれたため、本田副会長及びファーマちゃんと一緒に写真を撮影する参加者が多数見られ、大変良好な雰囲気の中で活動を行うことができた。



日薬学術大会 懇親会での本田あきこ副会長!

第51回日本薬剤師会学術大会の懇親会が2018年9月23日(日)、ホテル日航金沢4階、鶴の間で18時30分から開催された。

懇親会の会場入り口では、本田副会長とファーマちゃんが参加者を出迎えた。

懇親会は「八千代獅子」金沢の郷土の舞で幕をあげた。

大会運営委員長である石川県薬剤師会中森慶滋会長の挨拶に続き、山本会長が挨拶を行い、最後に本田副会長の登壇を促した。本田副会長は壇上から参加者に向けて決意表明を行い、盛大な拍手をいただいた。降壇した後は、参加者一人一人と握手をして回り、多くの温かい激励の言葉をいただくことができた。



藤井議員、山本会長、本田副会長の
鼎談記事を掲載!

ドラッグマガジン10月号に、「これから求められる薬剤師のあり方」をテーマとした藤井議員、山本会長、本田副会長の特別鼎談の記事が掲載され、日薬のホームページで閲覧できるようになったので紹介する。

<https://www.nichiyaku.or.jp/pr-activity/media/index.html>

ファーマくんがゆく

福岡県薬剤師会及び福岡県薬剤師連盟の原口亨会長をお訪ねしました



ファーマくん：以下、**ファーマ** こんにちははファーマです。本日は、原口会長のプライベートを含め、いろいろな質問をさせていただきますので、よろしくお願ひします。

まず、原口会長は、福岡県薬剤師会会長、同連盟会長、また、九州山口薬剤師会会長、更に、日本薬剤師会理事、日本薬剤師連盟の九州ブロック総務として活躍されておられますが、休日はこのようにお過ごしでしょうか？

原口会長 月に1〜2日は休みを取るようにはしています。バイクとキャンプが趣味ですので、バイクにアイテムを積み込んでキャンプツーリングなんかを。星空の下で焚火を前にお酒を飲むのは最高の贅沢ですよ。

ファーマ 先生のご家族について教えてくださいませんか？

原口会長 同い年の家内と高校生の息



子が二人です。息子は二人とも寮生活をしておりまして、家では夫婦二人です。家内も薬剤師で薬局を経営しておりますので、家での会話も半分以上は薬剤師や薬局についての話ですね。

ファーマ 先生は福岡大学薬学部を卒業ですが、大学生活はいかがでしたでしょうか。思い出深いことなどを教えてください。

原口会長 あまり真面目な学生ではなかったです。ただ、教職課程も履修していたこともあり、大学院時代も含め6年間、中高生の学習塾や薬剤師国家試験予備校で講師のアルバイトをしていました。ただ、ほとんど飲み代や、車代やそのパーツ代などに消えちゃいました。

ファーマ 大学卒業後、現在に至るまでの経歴を教えてくださいませんか。

原口会長 24歳で大学院を修了し、鹿児島県内の病院に就職しました。薬剤師が病棟に入り始めた時期だったので、大変でしたが楽しかったです。その後、地元福岡に戻り、保険薬局に勤務しました。保険薬局の業務の楽しさを感じ始めた頃、大学の先生で紹介で薬局開設の話が上がりました。自分で薬局を始めました。当時27歳で、薬局経営のイロハも知らない状態でしたので、結構無謀だったかもしれません。

ファーマ 福岡県には2つの政令市がありますが、県全体をまとめるのにどのような苦労がございましたでしょうか？

原口会長 若くから県薬の会務に携わ

らせていただいていたこともあり、政令市に限らず県内各地の多くの先輩方から色々と教えていただくことができました。連絡を密に相談させていただきながら会務を進めていくことが重要だと考えています。

ファーマ 県薬会長として、歴代の会長が築き上げてきた薬剤師会を、これからのような施策で会員を牽引されていくのか聞かせて下さい。

原口会長 今後、薬局は既存業務に加え地域住民の潜在的要素も含むニーズを満たしていくことが必要です。そのためには地域住民自身も認知できていないニーズを知るためのコミュニケーションが重要だと考えています。若い世代や病院薬剤師の先生方にも積極的に参加いただきながら、顧客・患者志向の事業を企画立案実行していきたいと思っています。

ファーマ 先生は薬剤師免許以外にもライセンスを取得していると聞いていま

すが、どのようなものなのでしょうか教えてください。

原口会長 例えば薬学の大学院の他に、経済学の大学院（九州大学ビジネススクール）も修了しておりますので、経営学修士（MBA）を取得しております。他の医療従事者や大手企業の幹部候補、中小企業経営者や行政職など様々な仲間と、マーケティング・財務会計・人的資源・産業政策・地域政策・各種戦略等について学びました。今後の会務にも生かしていきたいと考えています。

ファーマ 最後に、先生は九州ブロックの代表として日本薬剤師連盟の組織内候補者の支援活動をどのように盛り立てて行かれるのかお聞かせください。

原口会長 九州は本田あきこ副会長の出身地でもありますので、九州一丸となって活動してまいります。そのためには、薬剤師のさらなる活動が国民の便益に繋がる点とその為の政策的支援の重要性を多くの薬剤師と共有することが必要

です。そのような共有の場を数多く開催することに加え、県薬剤師会、地域薬剤師会が連携しながら、みんなが自分の足を使って進めていきたいと思っています。

ファーマ 本日は、貴重な時間をさいいただき、また丁寧な説明をいただき、ありがとうございます。これから薬剤師のために活躍いただくことを期待しております。



もとゆき Report 藤井もとゆき 国会レポート

薬剤師・薬学博士
自由民主党組織運動本部本部長代理・参議院議員
藤井もとゆき



内閣改造と自民党役員人事

安倍首相は、6年振りとなった自民党の総裁選挙において再選され、10月2日に内閣改造と自民党役員人事を行い、第4次安倍改造内閣が発足しました。今回の内閣は、19人の閣僚のうち12人が初入閣という斬新な顔ぶれとなりました。私の所属する宏池会からは、再入閣の根本厚生労働大臣に加え、宮腰一徳総活躍担当大臣及び平井情報通信技術政策担当大臣の2氏が初入閣しました。首相は組閣後の会見において、「それぞれのポジションで腕を磨いてきた実務型の人材を結集した、明日の時代を切り開くための全員野球内閣」と評しています。新閣僚は、11月24日に召集された第197回臨時国会で初の論戦に臨みますが、首相の期待に応え、思う存分にその力量を発揮されるものと期待しています。

一方、自民党役員人事では、党3役のうち幹事長と政調会長が留任し、総務会長には加藤厚生労働大臣が就任しました。しかしながら、全体的にはそれほど大幅な役職の交代は行われず、私は継続して、自民党組織運動本部本部長代理及び総務会総務の任務を担うこととなりました。来年は、春の統一地方選挙、それに続く夏の参議院議員選挙と、政局を占う重要な選挙日程が組まれています。安定した政局運営を継続して担うべく我が党の勝利を目指し、組織運動本部長代理として、更なる党の組織強化に取り組んで参りたいと思います。また、総務会総務として、来年度の政府予算案編成や、厚生労働省において現在検討が進められている薬機法や薬剤師法の見直し等、党内での重要案件や法案審議にも真摯に取り組んで参りたいと思います。

この臨時国会では、参議院厚生労働委員及び決算委員会に引き続き所属することとなりました。今後とも、党務やそれぞれの委員会での質疑を通じて、医療・介護等の社会保障の充実、並びにかかりつけ薬剤師・薬局、健康サポート薬局の定着等、「患者のための薬局ビジョン」の実現に努めて参る所存です。

編集後記

本気だ！本田！！
「本田あきこ」への支援活動が活発になっている。本号でも紹介した、AJPFフォーラム、臨時評議員会後の激励会の開催、日薬学術大会における連盟ブースでの活動といった集会でのアピールに加え、薬学生に対する接触も増加している。選挙権年齢の引き下げ対策として、薬科大学への働きかけを検討してきたが、なかなか実現できなかったことだ。

本年7月、名城大学薬学部を学生を対象に「本田あきこ」が講演し、学生に対して「本田あきこ」のアピールを行うことができた。その後、9月に崇城大学薬学部の防災訓練、10月に横浜薬科大学の学園祭に参加し、11月に立命館大学、12月には第一薬科大学と崇城大学での講義が予定されている。更に東京薬科大学において、12月と1月の講義が、また2月には城西大学での講義も検討されている。改めて本田あきこ中央後援会から都道府県後援会に対して、薬科大学・薬学部への働きかけを要請した。

また、これまで希薄であったSNSの活用としては、本田あきこホームページ、フェイスブック「本田あきこの部屋」、メールマガジンの定期配信が順調に機能している。企画実行委員会では、意識高揚のための掛け声を「本気だ！本田！！」と提案し、役員会で了承され、その後の集会でさっそく実行に移された。

高まってきている意識の高揚感を、目標達成に向けて更に高めよう。

広報委員

- 安東 哲也、石井 甲一
- 小野 春夫、鳥海 良寛
- 大澤 泰輔、大原 整
- 近藤直緒美、渡邊美知子